には、リンクがあります。 は、WAMNETの事業者情報にリンクします。

事業所名	グループホームアネシス
日付	平成17年9月12日
評価機関名	社会福祉法人 岡山県社会福祉協議会
評価調査員	病院での看護業務歴33年(内老人病棟で18年)、家族介護歴7年 病院での相談援助業務歴31年、家族介護歴13年
自主評価結果を見る(事業所の自主評価結果にリンクします)	
評価項目の内容を見る(岡山県の定めた評価項目へリンクします)	
事業所のコメントを見る(評価結果に対する事業所の改善状況についてコメントがあります!)	

外部評価の結果

講評
全体を通して(特に良いと思われる点など) ・法人全体で、積極的に環境改善への取り組みを進めています。グループホームでも、他施設の職員のみで、課題と思われる箇所を「キャプションテーマ」として写真に撮り、検討を促しています。その結果、課題とされた箇所や、昨年の外部評価で要改善とされた箇所のほとんどが、職員の創意・工夫で改善されています。 ・環境課題や、外部評価の結果は、グループホームを訪れる方にも分かるように、玄関に掲示されています。サービスの質を向上させようとする前向きな姿勢がうかがえます。 ・職員と入居者は、なじみの人間関係がよくできています。どの職員も穏やかな、柔らかい表情で、入居者のペースを尊重し、ホームのモットーである「明るく、あたたかく、愛をもって」のケアが実践されています。 ・職員の愛犬が入居者の癒しになっており、どの入居者もこの犬の出動を楽しみにしています。 ・緊急時は、法人内の応援が得られる体制が整っています。 ・食事は、隣接の老健施設から調理済みものが届けられますが、入居者も加わり、盛り付けをしています。また、月に何回かはご馳走をつくったり、おやつを一緒につくったりするなど、匂いや色どり、調理の音など五感へのはたらきかけや、楽しみことも大切にしています。
特に改善の余地があると思われる点 昨年の外部評価「要改善項目」に対するこの1年の取り組みは、高く評価されます。「しいて言えば」ということで、次の点を提案させていただきます。 ・入居者の個人記録に書いたほうが良いと思われる具体的な行動や関わりの様子を、申し送りノートに記録されていました。夜間の記録はしっかりされていますが、日中の記述をもう少し増やしていくようにされてはいかがでしょうか。

運営理念

番号	項目	目	できている	要改善
1	理念の具体化、実現及び共有			
記述項目	グループホームとしてめざしているものは何か。 ・職員は、常に入居者の気持ちになって、ホームでの生活が過ごしやすいものになるよう、お手伝いをしたいと考えています。 ・入居者一人ひとりに合ったクラブ活動などを通して、入居者が楽しみながら、身体機能を維持していけるような生活ができたらと考えています。			

生活空間づくり

番号	項目	目	できている	要改善
2	家庭的な共用空間づくり			
3	入居者一人ひとりにあわせた居室の環境づくり			
4	建物の外周や空間の活用			
5	場所間違い等の防止策			
記述項目	入居者が落ち着いて生活できるような場づくりとして取り組んでいるものは何か。 ・入居者の動きを制限せず、一人になりたい時間も大切にしています。居室に居る時には、離れたところからそっと見守るようにしています。			

ケアサービス(つづき)

番号	項目	目	できている	要改善
17	排泄パターンに応じた個別の排泄支援			
18	排泄時の不安や羞恥心等への配慮			
19	入居者一人ひとりの入浴可否の見極めと希望にあわせた入浴支援			
20	プライドを大切にした整容の支援			
21	安眠の支援			
22	金銭管理と買物の支援			
23	認知症の人の受診に理解と配慮のある医療機関、入院受け入れ医療機関の確保			
24	身体機能の維持			
25	トラブルへの対応			
26	口腔内の清潔保持			
27	身体状態の変化や異常の早期発見・対応			
28	服薬の支援			
29	ホームに閉じこもらない生活の支援			
30	家族の訪問支援			
記述項目	一人ひとりの力と経験の尊重やプライバシーの保護のために取り組んでいるものは何か。 ・入居前の生活の様子を家族から聞き出し、ホームの中でできそうなことは声をかけて、経験が活かされるように働きかけています。 ・居室には勝手に入らないよう、出入りの際は、必ずノックと声をかけをし、プライバシー保護への配慮をしています。夜間の見回り時の入室についても、事前に入居者に説明し、同意を得ています。			

ケアサービス

番号	項目	目	できている	要改善
6	介護計画への入居者・家族の意見の反映			
7	個別の記録			
8	確実な申し送り・情報伝達			
9	チームケアのための会議			
10	入居者一人ひとりの尊重			
11	職員の穏やかな態度と入居者が感情表現できる働きかけ			
12	入居者のペースの尊重			
13	入居者の自己決定や希望の表出への支援			
14	一人でできることへの配慮			
15	入居者一人ひとりにあわせた調理方法・盛り付けの工夫			
16	食事を楽しむことのできる支援			

運営体制

番号	項目	目	できている	要改善
31	責任者の協働と職員の意見の反映			
32	家族の意見や要望を引出す働きかけ			
33	家族への日常の様子に関する情報提供			
34	地域との連携と交流促進			
35	ホーム機能の地域への還元			
記述項目	サービスの質の向上に向け、日頃から、また、問題発生を契機として、努力しているものは何か。 ・法人全体として、環境改善への取り組みがあります。問題点、取り組みの内容は、訪問者にも分かるように、掲示しています。 ・法人内で、月2回程度の学習会があり、職員は積極的に参加しています。 ・「ヒヤリハット」を報告するシステムがあり、事故予防ついでの話合いが積極的に行われています。			